

3年生が良い形で最後を締めくくってくれています。

今年は3月、4月、5月と臨時休校が続き、6月1日によろやく学校が再開され、6月18日から部活動も再開されました。本日まで生徒達は、様々な思い、不安や葛藤、悩みなどを持って日々を過ごしてきたことと思います。7月23日(木)から運動部3年生の最後の試合となる交流試合が始まりました。前日22日に激励会が開かれたので、その場で先日のNHK放送番組「今だからこそ不屈のメッセージスペシャル」の中での有名選手の言葉を紹介しました。

(柔道・阿部詩選手)「苦しくてもつらくても、乗り越えられたら、また一段成長できると信じている。」

(卓球・伊藤美誠選手)「大変な時期が自分を育ててくれると思う。苦しい時こそ強さを磨く。」

(陸上・桐生祥秀選手)「大きい目標ではなく、小さな目標をたくさんつくる。“目標”が道を切り開く。」

3人とも、何事もポジティブに考えて、一日一日を過ごしていくことが、自分自身の可能性を広げる、と考えていました。本校の生徒諸君も、3カ月の臨時休校の間、学校再開後の2カ月、一日一日できることにベストを尽くしてきてくれたように見受けられます。交流試合では、①コロナウイルスに感染しない、②熱中症にかからない、③ケガをしないことに気をつけながら、今の時点でのベストを尽くしてきてほしい。ベストを尽くすことができればそれで十分、という話をして送りだしました。

1学期の間、たいへんお世話になりました。ご心配もおかけしました。

3密の回避のために、机と机の間隔をできるだけ開ける、飛沫感染予防のために、1mの間隔に気をつけ、マスクをつけていても15分以上話さない、給食は前を向いて静かに食べるなどの取組も確かに影響しましたが、1学期の間、授業中に廊下を通っても、「あれ、この教室は空き教室だったかしら？」と勘違いするほど、静かに集中して授業に取り組んでいました。3月から5月の臨時休校の間に、学習する意味や一緒に学校生活を送ることの喜びを考え直してくれたためか、1学期中の欠席や遅刻が、昨年度に比べて、とても少なくなりました。6月の2週目から7限授業を行ってきたにもかかわらずです。

そうは言っても、入学後間もない1年生はもちろん、2年生も3年生も、それぞれの立場で思うことがあり、その思いも封印しながら2カ月間をやり抜いてくれたのだと思います。7月31日の終業式は、3密回避の一環として、各教室で、校長からのビデオメッセージを見てもらいました。そこではこんな詩を2つ紹介しました。

ぼく 谷川俊太郎

ぼくはこどもじゃない ぼくはぼくだ

ぼくはおとなじゃない ぼくはぼくだ

ぼくはきみじゃない ぼくはぼくだ

だれがきめたか知らないが ぼくはうまれたときからぼくだ

だからこれからも ぼくはぼくをやっていく

ぼくはぜったいにぼくだから なんにでもなれる エイリアンにだってなれる

うちもしんどいで 川上 啓子

おとうちゃん帰ってきたら「しんどかったでしょう」とおかあちゃんがいう

うちかえってきても「おかえり」というて「はよ勉強しやなあかんで」とつけくわえる

おかあちゃん わたしもな

勉強して 掃除して かばんもって歩いて 電車でゆられて あぶない国道歩いて 帰ってきてんで

一言ぐらい「しんどかったやろ」というてくれても 口、へらへんやろ

「1学期の間、たいへんよく頑張ってくれました。しんどかったでしょう。お疲れ様でした。」と、語りかけ、17日間の夏休みには、とにかく「ほっとひといき。たまには なんにも 考えない。」ようにして心と体を休めてくれるように言いました。

ただ1点だけ、どんなにインターネット動画が面白かろうか、オンラインゲームが盛り上がりかろうか、10時には寝ること、生活リズムを保って、8月18日からの2学期に備えるように言いました。こちらの方だけどうかよろしくお願いします。